



©FAO/Tamiru Legesse



©ハンガーフリーワールド



©ハンガーフリーワールド



©ハンガーフリーワールド

「世界食料デー」月間 2018 シンポジウム in 横浜

考えよう! 「食」**食べる**こと」「捨**てる**こと」

私たちの食と SDGs

今、世界では生産された食料の3分の1にあたる13億トンが毎年廃棄され、その一方で9人に1人が十分に食べられていません。国連が定めた「持続可能な開発目標(SDGs)」では、2030年までに世界の飢餓をゼロにすることや食料廃棄を半減することなどを目指しています。このシンポジウムではNGOや企業等が食の問題に取り組む活動を紹介します。

国谷 裕子さん 基調講演

SDGsの情報の発信と共有を積極的にすすめている国谷裕子さんに、食に関する視点からお話しいたします。

国谷裕子さん▶
日本担当FAO(国連食糧農業機関)親善大使



日時 2018年11月10日(土)
13:00~16:30 <受付12:30 ~>

共催 「世界食料デー」月間2018
横浜市資源循環局

後援 外務省、農林水産省、環境省、消費者庁、神奈川県

場所 はまぎんホールヴィアマーレ
(西区みなとみらい3-1-1)

定員 先着300人
(事前申し込み制)

参加費 無料



「世界食料デー」とは…10月16日を「世界の食料問題を考える日」として国連で定めています。日本では「世界食料デー」のある10月を「世界食料デー」月間とし、解決に向けて行動することをNGO・NPOや国際機関と一緒に呼びかけています。

登壇者プロフィール

基調講演

大阪府生まれ。米ブラウン大学卒。NHK「7時のニュース」英語放送の翻訳・アナウンス、NHK衛星「ワールドニュース」キャスターを担当。1993年から2016年3月までNHK総合「クローズアップ現代」キャスターを務める。この間、特別番組や「NHKスペシャル」等のキャスターも担当。2016年より「持続可能な開発目標SDGs」の取材・啓発活動等を行っている。1998年放送ウーマン賞、02年菊池寛賞、11年日本記者クラブ賞、16年ギャラクシー賞特別賞受賞 著書「キャスターという仕事」(岩波新書) <好きな食べ物:おにぎり>

国谷 裕子

東京芸術大学理事、慶応義塾大学特別招聘教授、自然エネルギー財団理事、日本担当FAO(国連食糧農業機関)親善大使



事例紹介・クロストーク



スポーツメーカーで働く傍ら、阪神淡路大震災時より多言語放送局の立ち上げ・運営に携わる。留学などを経て、帰国後はNGOでアドボカシー・キャンペーンに関わり2015年6月より現職。市民ネットワークfor TICAD世話人。

<好きな食べ物:粉もん>

米良 彰子

特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド
海外事業マネジャー・アドボカシー担当



食のトレンドや食文化の発信により、外食文化の醸成や更なる外食機会の創出を目指す。自身の年間外食回数300日以上。ジャンルは立ち飲み〜高級店まで多岐にわたる。趣味はトリアスロン。

<好きな食べ物:たこ飯>

有木 真理

株式会社リクルートライフスタイル
ホットペッパーグルメ外食総研 上席研究員



広島大学政経学部経済学科卒業、株式会社ニチイに入社。2011年3月 イオン(株) グループお客さまサービス責任者 兼 イオンリテール(株) お客さまサービス部長、2012年3月 イオン(株) 経営人材開発委員会事務局 事務局長を歴任し、2013年9月よりイオン(株) グループ環境・社会貢献部 部長を現任。

<好きな食べ物:豆腐・納豆>

金丸 治子

イオン株式会社 グループ環境・社会貢献部 部長



神奈川県出身。1982年に横浜市役所に入庁。以来、長きにわたり横浜市のごみ行政に携わる。2018年より現職。様々な視点から「食の大切さ」について考えるきっかけ作りを行い、「食品ロス」の削減を呼びかける。

<好きな食べ物:アジフライ>

福山 一男

横浜市資源循環局 局長

※クロストークのみ登壇

モデレーター



キャンペーン企画「2030 SDGsで変える」を担当。自宅では冷蔵庫の中身をチェック、スーパーでは商品を手前から取るようにして、SDGs達成のための課題や多くの人のチャレンジを取材している。昆虫食にも興味あり。

<好きな食べ物:さくらんぼ>

北郷 美由紀

朝日新聞記者

シンポジウム会場で フードドライブを実施します

■フードドライブとは

各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめてフードバンク団体や地域の福祉施設・団体などに寄付する活動です。

■寄付できる食品・・・缶詰、レトルト食品、お米、乾麺など

■受付条件・・・未開封、賞味期限(要明記)まで2か月以上、常温保存できるもの

【申し込み方法(事前申し込み制)】

ホームページ

横浜市資源循環局ホームページからお申し込みください。

往復はがき

往信用宛名面に「231-0013中区住吉町1-13 松村ビル5F 資源循環局3R推進課宛」
往信用文面に「住所、氏名、電話番号」を、返信用宛名面に「住所、氏名」を記入し送付してください。返信はがきにて参加の可否をご連絡します。
※返信用文面には何も記入しないでください。
※記入方法は資源循環局ホームページでも公開しています。

【問合せ】

横浜市資源循環局3R推進課 **Tel** 045-671-3593

Fax 045-663-5834 **Mail** sj-3rsuishin@city.yokohama.jp

○最新の情報は横浜市資源循環局ホームページをご覧ください。

プログラム

13:05 開会の挨拶 横浜市

13:15 基調講演 「SDGs 今、私が伝えたいこと」
国谷 裕子 日本担当FAO(国連食糧農業機関)親善大使

14:10 事例紹介

■アフリカの食の現状とNGOの取組

米良 彰子 ハンガー・フリー・ワールド
海外事業マネジャー アドボカシー担当

■食の課題解決に向けた企業の取組

金丸 治子 イオン株式会社
グループ環境・社会貢献部 部長

■食品ロス削減に向けたシェアバッグの取組

有木 真理 株式会社リクルートライフスタイル
ホットペッパーグルメ外食総研 上席研究員

14:45 休憩

15:00 クロストーク

15:45 「世界食料デー」月間のご紹介

16:00 終了

※12:30~13:00と16:00~16:30、会場のロビーに「交流スペース」を設けます。シンポジウムに登壇する団体の他、食料問題に取り組む複数の団体が活動についてご紹介しますので、ぜひお立ち寄りください。